

沖縄本島で新鋭フェリーを追う

事務局長 池田良穂

2020年3月上旬の週末、甥っ子の結婚式に出席するために沖縄にでかけました。前日の朝に那覇空港に到着して、レンタカーで本部港まで2時間ほどで到着し、伊江島航路の新造フェリー「ぐすく」の写真を瀬底大橋の上から撮影。つづいてすぐ近くの渡久地港で水納島(みんなじま)への高速船「ニューウィングみんなⅢ」を撮影することができました。

那覇では、離島航路の高速船・フェリーの基地である泊港にたつビルのホテルに宿泊。部屋から眼下に泊港が見えて、久米島、粟国島、渡嘉敷島、慶良間諸島へのフェリーが出入りしています。また、泊大橋越しではありますが、那覇新港に停泊するRORO船が毎日数隻は入港するのが見えました。

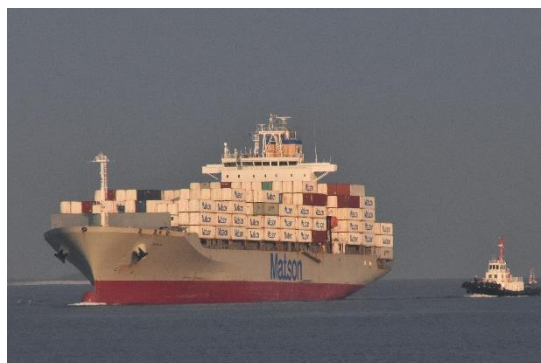
そのRORO船埠頭の沖には、那覇港のコンテナターミナルがあり、週一回くらいのペースでAPLやマトソン社の運航する北米航路船がやってきます。運よくマトソンの「マヌカイ」の入港を見ることができました。



本部港を出港して伊江島に向かう新鋭村営船「ぐすく」。船名は沖縄方言の「城」の意味です。



渡久地港を出て水納島に向かう高速客船「ニューウィングみんなⅡ」。日本の旅客船Ⅰでは、会社のホームページの写真を使いましたが、ようやく自分で撮影ができました。



翌朝、那覇港に入港するマトソンラインのコンテナ船「マヌカイ」の姿が見れました。



沖縄の大手バス会社である第1交通が始めた那覇～読谷～本部間の高速船サービスですが、今は那覇～読谷の30分ほどの航路のみ運航しています。使用船は「タクマⅡ」で、元「第2ちどり」です。



ホテルの部屋の窓から見た泊港の全景です。



10 時には、「フェリー栗国」が出港していきました。



朝 9 時に久米商船の新造船「フェリー海邦」が出港しました。同船とは初対面。背景に大東島航路の貨客船「だいたう」と、出港する「クイーンざまみ 3」の姿も見えます。



続いて「フェリーざまみ」が出港しました。



最後は、「フェリーとかしき」の出港です。これで泊港の定期船は全部出港して、港内は閑散となりました。



「フェリー海邦」の後ろ姿です。



12 時半には「フェリー琉球」が入港してきました。「フェリー海邦」と共に久米島航路に就航しています。